



Amappo



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第231号 2021年6月号

SINCE 2002.4.1.



発行日令和3年5月18日  
 発行元有限会社佐野工務店  
 〒237-0068  
 横須賀市追浜本町1-25  
 TEL 046(865)4010  
 FAX 046(865)6139  
<http://www.sano-k.net/>  
 info@sano-k.net

## Enjoy HOME 「ベ이스ターズ」

昭和24年（1949年）に3万人収容の「市営追浜球場」として誕生し、市民に愛されながら約半世紀後の平成10年（1997年）に「かながわ・ゆめ国体」（翌年開催）に備え、観客席、照明設備、人工芝などが整備され、「横須賀スタジアム」として生まれ変わりました。その後、横浜ベイスターズのファームチーム「湘南シレックス」（2000年～2010年）のホームスタジアムとして使用されました。さらに、令和元年（2019年）に追浜公園周辺が大改修されて、DeNAベイスターズのファームの新グラウンドや室内練習場、選手寮が整備され、家族で楽しめる追浜の新名所になりました。地元の方はもちろん、「これからの選手」を応援するために全国からこのスタジアムに集まってきました。



“If you build it, he will come.”

2021年（令和3年）、照明設備が改修され、追浜をさらに明るく照らし続けます。



明るくなった  
横須賀スタジアム



入場料 大人 1,200円  
こども 600円



昭和31年頃の野球場周辺  
背後には野島山が見える  
（「追浜ふるさと写真集」より）



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます  
 創業 1960.1.20. **Next100**  
 創刊 2002.4.1.

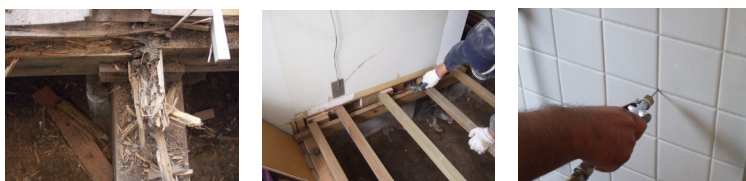
4月から7月にかけて浴室などで羽アリの群れを見かけたら、シロアリが住みついている可能性があります。ヤマトシロアリやイエシロアリなど多くのシロアリは日当たりや風通しが悪く湿気が多いところでなければ生息できないため、床下の風通しを良くしてじめじめさせないことがシロアリの被害を食い止める第一歩となります。水周りに近い部屋の床や壁が急に傷み始めたら注意が必要です。

## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

羽アリの群れを見かけたら、シロアリかどうか、まずは自分の目で確かめましょう。（すまい造りメール第121号参照）



シロアリの特徴



触角は直線で「数珠状」である（クロアリは「く」の字型）  
 胴体は「くびれ」がなく寸胴である（クロアリは「くびれ」がある）  
 羽は前後4枚「同じ大きさ」である（クロアリは前羽の方が大きい）

## よこすか文学館

&lt;66&gt;

難病による闘病生活の中  
珠玉の作品を作り続けた  
横須賀出身の俳人折笠美秋（おりかさ・びしゅう  
1934-1990）の作品  
を紹介します。

七変化は  
半ばこの世で濡れるなり  
折笠美秋

第六回

梅雨の季節の花と言えば、「あじさい」。通常、「紫陽花」の漢字を当てますが、花の色が変化するところから「七変化」とも称されます。美秋には、あじさいの句として「紫陽花は肯き合えり誰の訃ぞ」「鎮魂歌の楽符が濡れている紫陽花」などもあり、神秘的な花に対して「死」のイメージを泳み込んでいます。掲句も、あじさいを「あの世」と「この世」の境界で咲いている花として詠んでいます。幻想的で不思議な味わいのある句です。



洗足学園中学高等学校  
教諭 中島正二

# 横須賀製鉄所物語（柴田日向守の渡仏その2）〈76〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

柴田日向守一行は、フランス人技術者の採用についてはヴェルニーに任じていましたが、採用決定に当たっては柴田日向守に事前相談がなされていました。そして、人選についてはヴェルニーがプレスト市の海軍工廠に勤務していたこともあり、また、技術者の実力を十分熟知していたこともあり、プレスト海軍工廠勤務の人が目立ちました。この技術者採用について横須賀市立自然史博物館菊池学芸員によれば「プレストの海軍施設は、ヴェルニーが本国で技師として所属して勤務した唯一の海軍工廠で、現在もフランス海軍の拠点である」としています。更に「横須賀製鉄所に雇用されたフランス人技術者で最も多いのは、プレスト市やその近郊の勤務者や出身者であり、横須賀製鉄所建設への技術移転や当時の交流の様子を窺い知る上でも重要な地域であると言える」としています。

そのプレスト市とは1970年（昭和45年）横須賀市との間で姉妹市提携が行われ、交流が続けられています。

柴田日向守一行は、技術者の採用、機械類の購入の合間を縫ってツーロン、マルセイユ、ロリアン、プレストの港湾施設や造船施設を視察し、更には水道、下水道、病院、新聞社など日本の近代化に向けての施設を視察しました。また、都市のランドマークであるエッフェル塔、凱旋門、ノートルダム寺院等も見学しています。また、フランスの視察中にイギリスにも渡り、軍港、造船所の外議事堂、ウエストミンスター寺院なども見学しています。

柴田日向守一行が全ての任務が終了し、12月3日にマルセイユ港を出港し帰国することになりました。その後、1月26日には横浜港に無事寄港することになりました。

そして、フランスで採用した技術者などは、『横須賀海軍船廠史』の慶応2年紀によりますと、10月3日ヴェルニー以下全員が到着したと記されています。

ここに、横須賀製鉄所建設への準備が整うこととなりました。

（元横須賀市助役 井上吉隆）



2020年に開催された姉妹都市提携50周年記念展示のポスター（横須賀市主催）

**よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸** ミュージアムには、小屋組みを移設した実物展示のほか、日本近代化の礎となった横須賀製鉄所の歩みなどが展示されています。 **2021年5月29日(土)OPEN** 詳細につきましては施設にお問い合わせください。 ☎046(827)7003

## WOODSHOCK ～木材の品不足と価格高騰～

アメリカでの住宅ブームに端を発する木材の品不足と価格高騰が日本でも起きています。1970年代に経験した「オイルショック」になぞらえて、「ウッドショック」と呼ばれています。

アメリカの経済は日本と同じように超低金利政策で、このコロナ禍において在宅勤務の普及が進んだことで居住空間を見つめ直す機会となり、住宅ブームとなったようです。ただ、製材所は、需要減を予測し減産体制に入っていたために、急激な供給には追い付けず、木材の品不足と価格高騰（1年で約6倍）を招いているようです。



林野庁の森林・林業白書（2019年度）によると、日本の木材自給率は30%を超える程度で、残りはアメリカやカナダからの輸入に依存しています。丸太の50%をアメリカから、製材の30%をカナダやアメリカからそれぞれ輸入していますが、このアメリカの住宅ブームで、アメリカやカナダの材木メーカーが買取価格の高いアメリカを優先しているため、日本ではさらに調達に困難になっているようです。弊社と取引のある建材業者によると、すべての製材ではないにしても、欠品や納期回答が出ないなどといった樹種もあり、少なくとも15～20%の価格上昇は避けられないとの見解です。さらに、国産材のヒノキや杉が急騰し、前年比50%も価格が上昇しているものもあるようです。

弊社としましても、皆様にご迷惑がかからないように努力を重ねて参りますが、コロナ禍における建設業界を取り巻く環境について、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。（参考資料「日本経済新聞」）

### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「**すまい造りメール**」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2021」A-9歩ZONE版（永久保存版）を（Blog「Oppamap2021」より）ダウンロードすることができますので、是非ご利用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店  
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索